

熊本県院内がん登録データに係る統計 —2020年診断症例—

医療機関名		独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
-------	---	-----------------------

○基本情報

【令和2(2020)年12月現在】

所在地	熊本市中央区二の丸1-5		
病床数	550床(一般500;精神50)		
診療科数	34科		
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08		
がん登録開始基準日	2007.09.01		
平均在院日数	13.0(日)		
入院患者数	13,967(人)		
外来患者延数	132,913(人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド/施設によっては概算)	18,360(件)		
院内がん登録件数	1,858(件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 2 / 初級者 0 / 他 0(名)		

○医療機関からのコメント

【登録件数・症例数の多い登録部位】

国立病院機構熊本医療センターの2020年診断症例の院内がん登録件数は1858件であった。例年通り悪性血液疾患(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群等)が最も多く296件、次いで大腸(結腸・直腸)246件、前立腺150件であった。(その他237件除く)

【性別・件数が多い部位別罹患平均年齢】

男性: ①悪性血液疾患 166件 69.1歳 ②大腸 150件 72.5歳 ③前立腺 150件 75.6歳
女性: ①乳房 144件 62.6歳 ②悪性血液疾患 130件 68.7歳 ③子宮頸部 127件 48.9歳

【症例数の多い部位の主な治療方法・特色】

1)『悪性血液疾患』日本骨髄バンクと日本臍帯血バンクの認定施設として、同種造血幹細胞移植を実践している。
2)『大腸』症例に応じて、患者様の身体的に負担の少ない鏡視下手術を積極的に取り入れている。また化学療法、放射線療法と組み合わせた集学的治療を実践している。
3)『前立腺』切除しない密封小線源治療(ブラキセラピー)を推進しており、2018年から全例にスペースOARシステムを導入し、放射線合併症防止にも努めている。また、前立腺がん部分治療(Focal therapy)について開始予定である。

【熊本医療センターの特徴・役割】

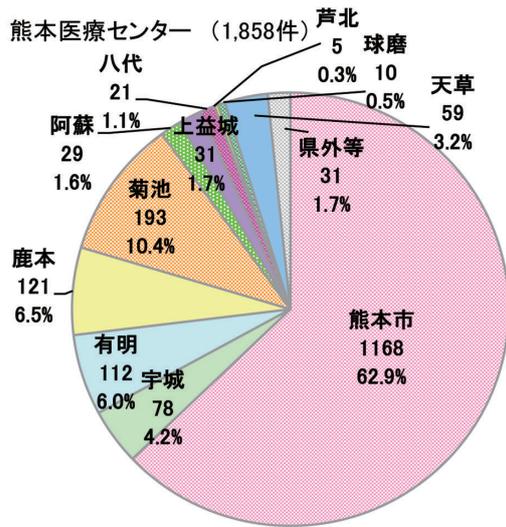
精神科を有しており、精神障害を合併されたがん患者様の治療に対応している。
2015年より腫瘍内科が新設され、がん薬物療法を専門に扱う腫瘍内科医4名の体制となったことで、全ての種類のがん診療に対応することが可能になった。
2020年より新館にがん総合医療センターが開設したことで、より多くの患者様に寄り添ったがん治療を提供する体制を整えた。今後も地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たすため、チーム医療、医療連携の充実を図っていく。

診断年別登録件数(参考)

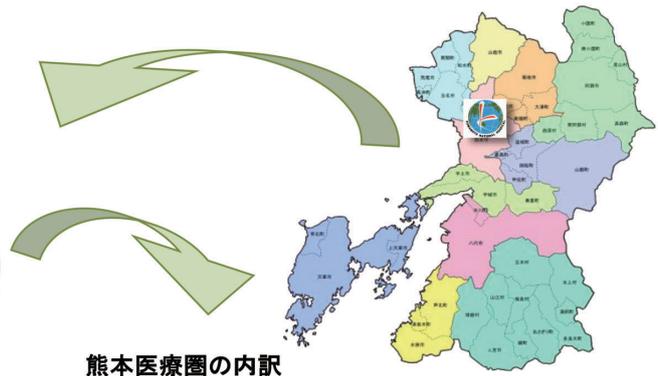


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

① 患者住所医療圏別登録の状況(2020年診断症例)



※ 全般において3件以下は*又は非表示



熊本医療圏の内訳

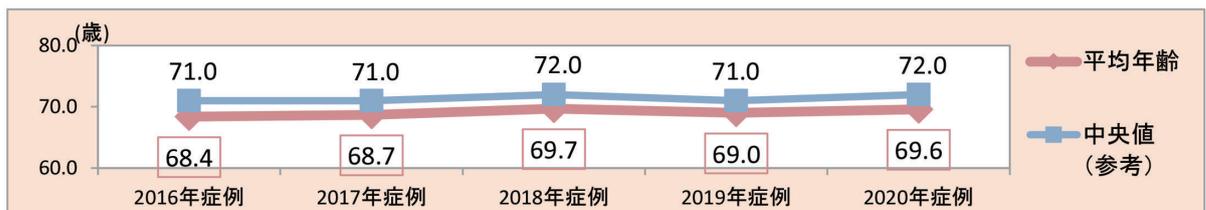
医療圏	件数
中央区	286
東区	85
西区	310
南区	117
北区	370

◇ 医療圏別上位5部位

医療圏	部位	件数	医療圏	部位	件数	医療圏	部位	件数	医療圏	部位	件数
熊本市	大腸	167	熊本	その他	16	上益城	悪性血液	8	球磨	該当部位	各*
	悪性血液	167		大腸	15		大腸	4			
	その他	141		悪性血液	15		肝	4			
	乳房	108		前立腺	14		該当部位	各*			
	前立腺	94		皮膚	10						
宇城	悪性血液	21	菊池	悪性血液	32	八代	大腸	4	天草	悪性血液	17
	その他	11		その他	24		該当部位	各*		子宮頸部	11
	大腸	8		膀胱	17					その他	11
	子宮体部	8		胃	15					前立腺	6
	子宮頸部	6		前立腺	15					該当部位	各*
有明	悪性血液	22	阿蘇	大腸	4	芦北	該当部位	各*	県外等	大腸	7
	大腸	19		子宮頸部	4					その他	7
	その他	19		膀胱	4					悪性血液	6
	子宮頸部	11		その他	4					該当部位	各*
	乳房	7		該当部位	各*						

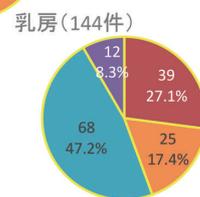
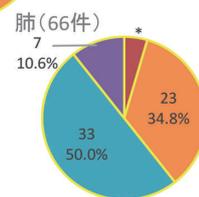
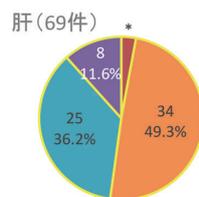
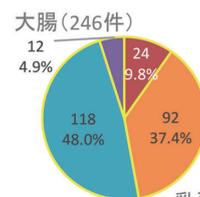
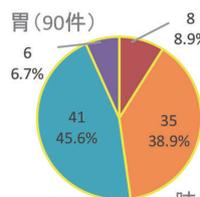
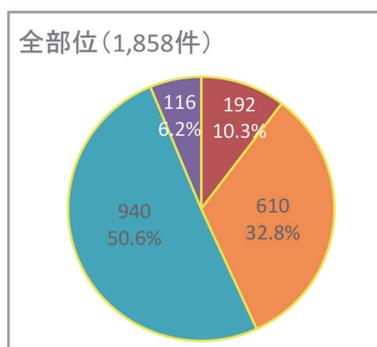
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計



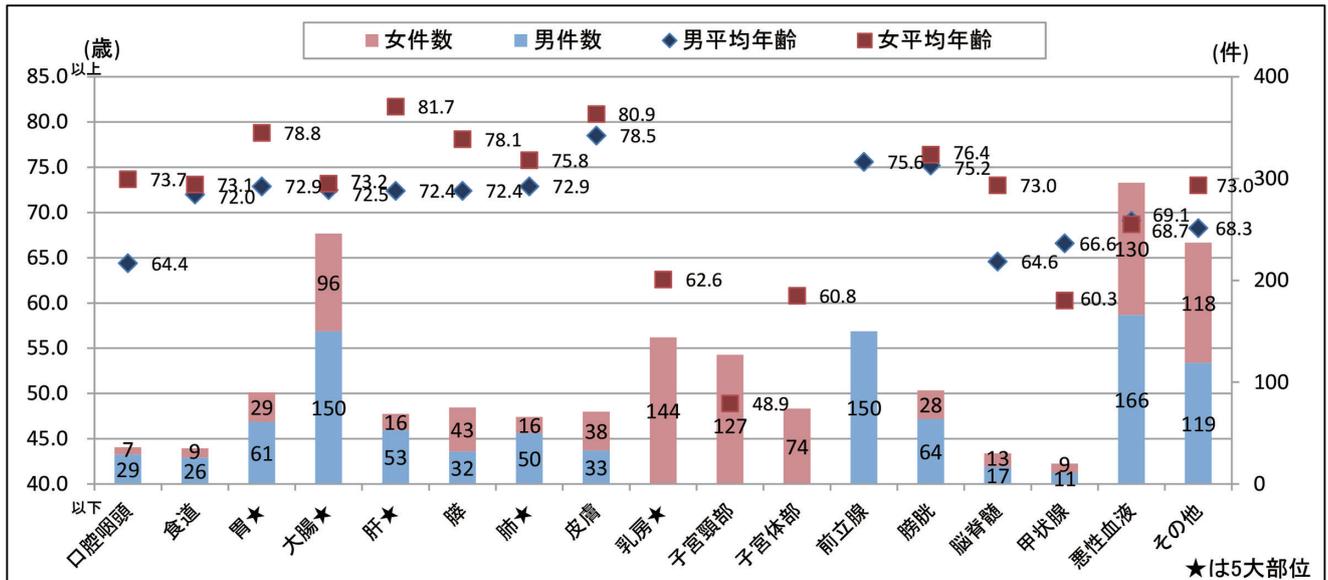
③ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



熊本医療センター

④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

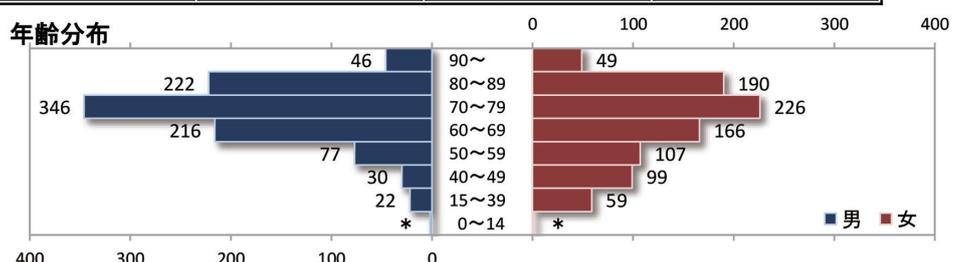


男性全体	0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
悪性血液 166	該当部位	各*	その他	8	悪性血液	13	大腸	16
大腸 150			悪性血液	5	その他	6	その他	16
前立腺 150			該当部位	各*	該当部位	各*	悪性血液	15
その他 119							肝	6
膀胱 64							口腔咽頭	5
胃 61							など	
肝 53	計	*	計	22	計	30	計	77
肺 50	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
皮膚 33	悪性血液	43	大腸	62	前立腺	44	大腸	8
膵 32	前立腺	34	前立腺	61	悪性血液	35	前立腺	8
口腔咽頭 29	大腸	33	悪性血液	49	大腸	29	皮膚	6
食道 26	その他	21	その他	38	その他	26	悪性血液	5
脳脊髄 17	膀胱	18	胃	28	膀胱	20	該当部位	各4
甲状腺 11	など		など		など		など	
乳房	計	216	計	346	計	222	計	46
子宮頸部								
子宮体部								
計		961						



女性全体	0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
乳房 144	該当部位	各*	子宮頸部	42	子宮頸部	37	乳房	32
悪性血液 130			悪性血液	9	乳房	22	子宮頸部	18
子宮頸部 127			乳房	4	子宮体部	18	子宮体部	17
その他 118			該当部位	各*	悪性血液	8	悪性血液	11
大腸 96					その他	5	その他	11
子宮体部 74	計	*	計	59	該当部位	各*	など	
膵 43					計	99	計	107
皮膚 38	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
胃 29	乳房	39	悪性血液	37	悪性血液	31	その他	11
膀胱 28	その他	26	乳房	34	その他	31	悪性血液	8
肝 16	悪性血液	25	大腸	33	大腸	25	大腸	7
肺 16	大腸	16	その他	33	皮膚	19	膵	5
脳脊髄 13	子宮体部	16	子宮体部	16	膵	18	皮膚	5
食道 9	など		など		など		該当部位	各*
甲状腺 9	計	166	計	226	計	190	計	49
口腔咽頭 7								
前立腺								
計		897						

年齢分布



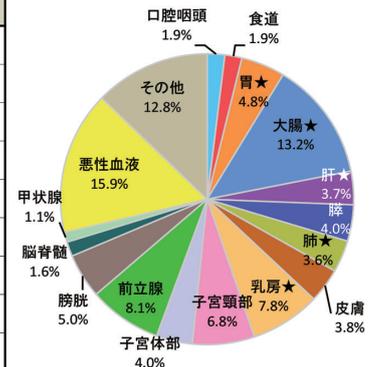
II 施設別統計

熊本医療センター

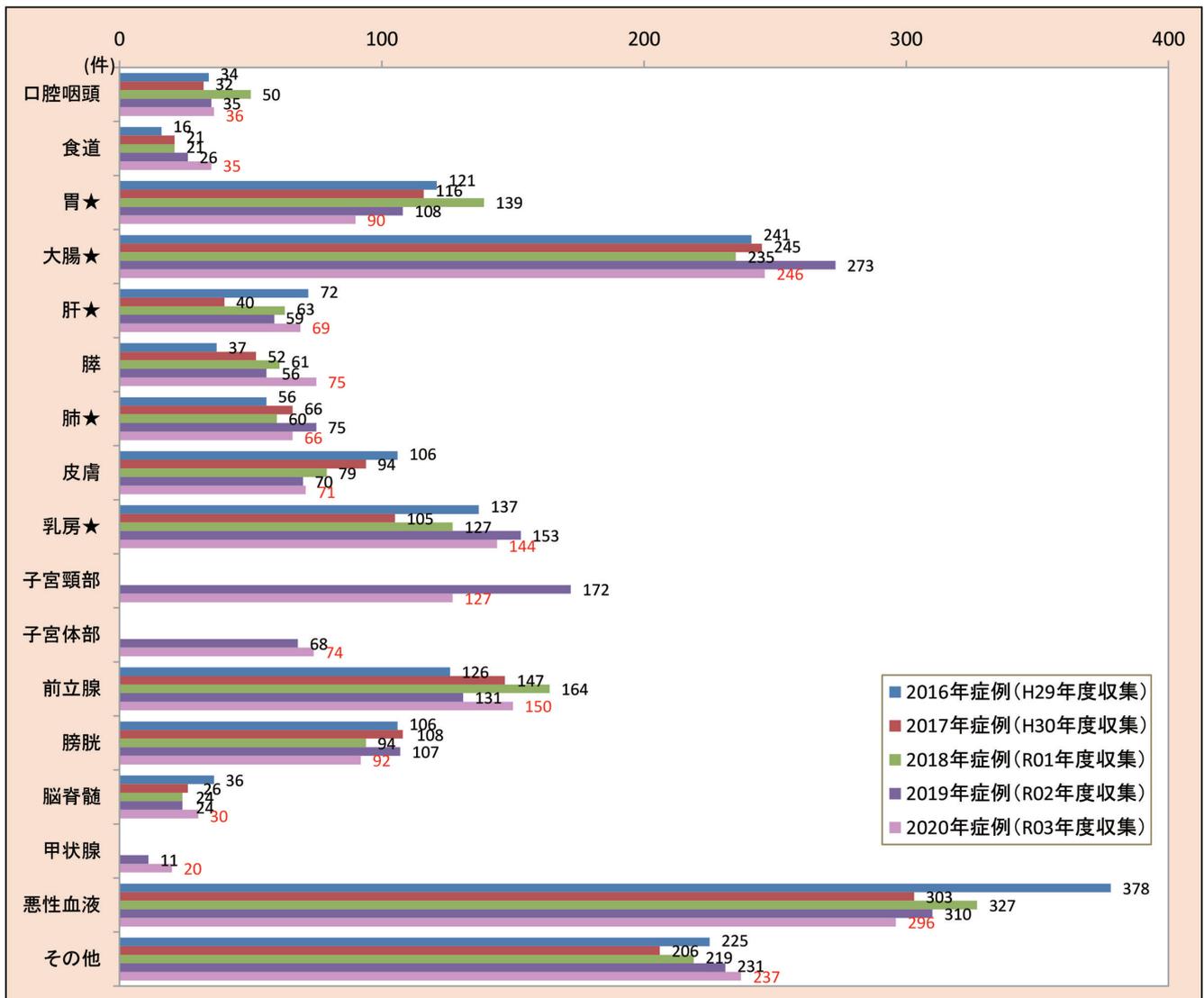
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)	2018年症例 (R01年度収集)	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)
口腔咽頭	34	32	50	35	36
食道	16	21	21	26	35
胃★	121	116	139	108	90
大腸★	241	245	235	273	246
肝★	72	40	63	59	69
膵	37	52	61	56	75
肺★	56	66	60	75	66
皮膚	106	94	79	70	71
乳房★	137	105	127	153	144
子宮頸部	258	240	210	172	127
子宮体部	(頸部・体部)	(頸部・体部)	(頸部・体部)	68	74
前立腺	126	147	164	131	150
膀胱	106	108	94	107	92
脳脊髄	36	26	24	24	30
甲状腺				11	20
悪性血液疾患	378	303	327	310	296
その他	225	206	219	231	237
計	1,949	1,801	1,873	1,909	1,858

2020年診断症例 主要部位別割合



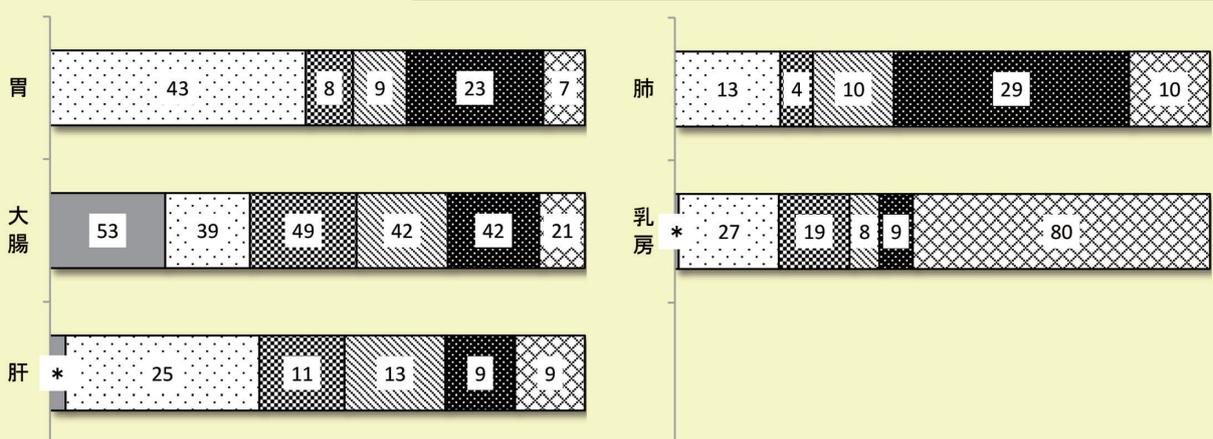
※大腸は結腸と直腸
 ※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
 ※その他は分類がないもの全て(胆管、卵巣、骨軟部など)
 ※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
 ※2019年症例より甲状腺をその他から分離



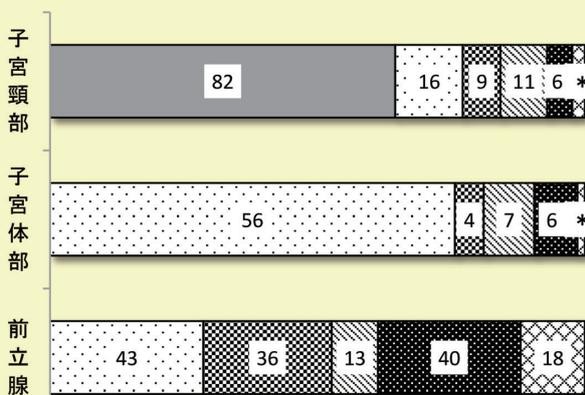
⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage0	Stage I	Stage II	Stage III	StageIV	その他
口腔咽頭	36	*	6	6	7	11	4
食道	35	7	*	5	5	10	5
胃★	90		43	8	9	23	7
大腸★	246	53	39	49	42	42	21
肝★	69	*	25	11	13	9	9
膵	75		23	7	8	30	7
肺★	66		13	4	10	29	10
皮膚	71	6	53	4	*	*	*
乳房★	144	*	27	19	8	9	80
子宮頸部	127	82	16	9	11	6	*
子宮体部	74		56	4	7	6	*
前立腺	150		43	36	13	40	18
膀胱	92	37	17	13	10	4	11
脳脊髄	30						30
甲状腺	20		5	*		*	10
悪性血液疾患	296		20	10	14	43	209
その他	237	13	73	17	24	44	66
計	1,858	203	462	204	184	311	494

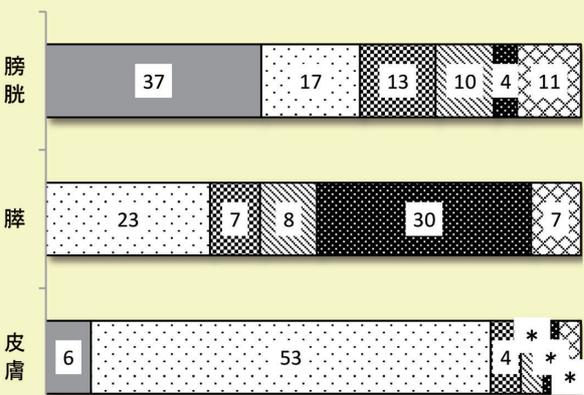
(参考)5大部位Stage別割合



(参考)+3部位Stage別割合



(参考)+各施設追加部位Stage別割合



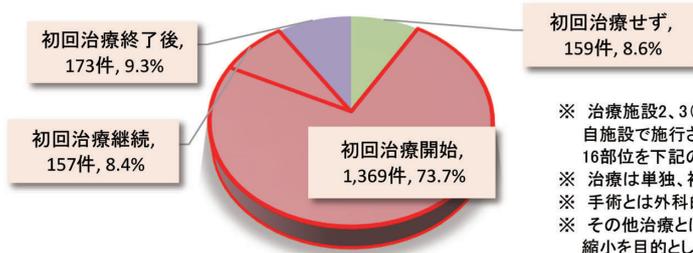
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

II 施設別統計

熊本医療センター

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

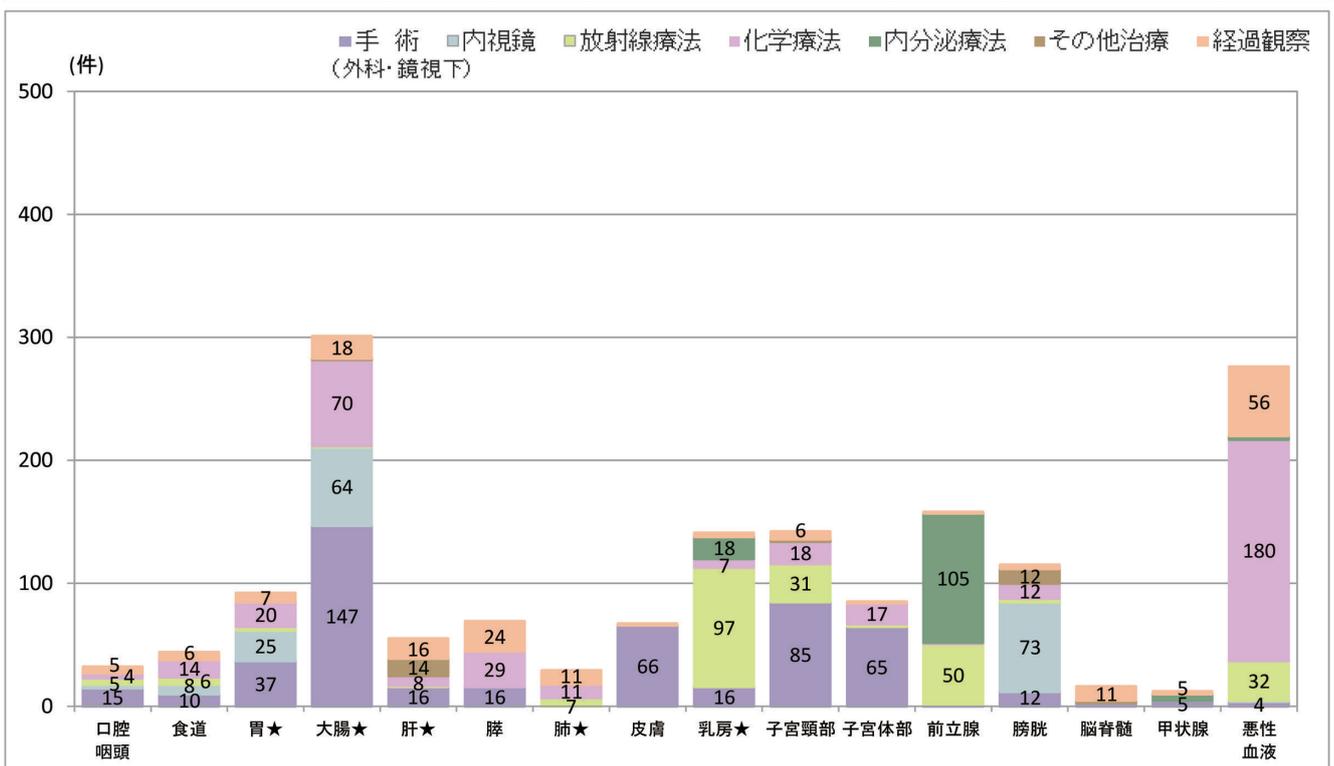
治療施設	件数
1初回治療せず	159
2初回治療開始	1,369
3初回治療継続	157
4初回治療終了後	173
8その他	0
計	1,858



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
 ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したものを

⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・手術 ・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭	15	*	5	4			5	32	77.8%	16.7%	5.6%
食道	10	8	6	14			6	44	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	37	25	*	20			7	92	82.3%	16.1%	1.6%
大腸★	147	64	*	70		*	18	301	87.7%	9.9%	2.5%
肝★	16		*	8		14	16	55	81.3%	6.3%	12.5%
膵	16			29			24	69	81.3%	12.5%	6.3%
肺★			7	11			11	29			
皮膚	66						*	67	93.9%	3.0%	3.0%
乳房★	16		97	7	18		*	141	93.8%	0.0%	6.3%
子宮頸部	85		31	18		*	6	142	98.8%	1.2%	0.0%
子宮体部	65		*	17		*	*	85	95.4%	4.6%	0.0%
前立腺	*		50	*	105		*	158	100.0%	0.0%	0.0%
膀胱	12	73	*	12		12	*	115	53.9%	46.1%	0.0%
脳脊髄	*					*	11	16	33.3%	66.7%	0.0%
甲状腺	5				5		*	12	80.0%	0.0%	20.0%
悪性血液疾患	4	*	32	180	*		56	276	80.0%	0.0%	20.0%
計	498	174	238	391	131	31	171	1,634			



⑩ 5大部位(総合Stage別)の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々種算
 ※ 分類はUIC08版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計

■ 手術 ■ 内視鏡 ■ 放射線療法
 ■ 化学療法 ■ 内分泌療法 ■ その他治療

